

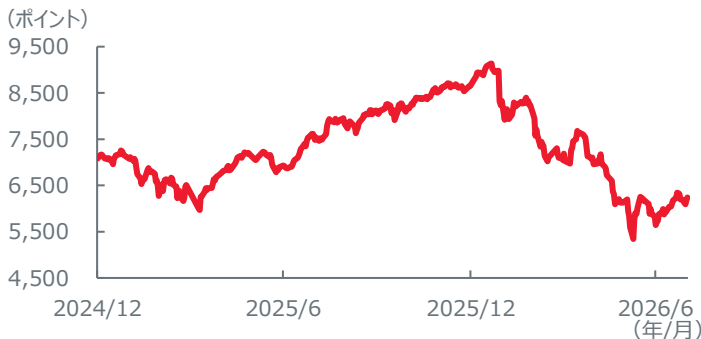
[マーケット振り返り]

インドネシア株式市場は、インドネシア中央銀行（BI）総裁の突然の辞任や米国の利上げ観測を背景としたルピア安などが嫌気され週半ばにかけて下落しました。しかし、29日には外国投資家による買い越し額が約2ヵ月ぶりの高水準となり、主力銘柄に買戻しが進んだことから反発しました。インドネシア株式市場は前週末比で上昇しました。

債券市場では、ペリー・ワルジョBI総裁の辞任を受けて中央銀行の独立性や金融政策運営への不透明感が意識され、一時的に国債利回りが上昇（価格は下落）しました。しかし、29日にBIがルピア安定化に向けた取り組み強化を表明したことから利回りは低下し、インドネシア10年国債利回りは前週末比で低下しました。

為替市場では、BI総裁の突然の辞任を受けてルピアが売られ、対米ドルで軟調に推移しました。その後、BIによるルピア安定化策や為替介入継続方針が示されたことで落ち着きを取り戻しました。ルピアは前週末比で対米ドル、対円ともに下落しました。

[株式市場] ジャカルタ総合指数の推移（2024年12月30日～2026年7月31日）



前週

2026/7/24	2026/7/31	変化率
6,196.43	6,236.13	+0.64%

年初来

2025/12/30	2026/7/31	変化率
8,646.94	6,236.13	-27.88%

[債券市場] インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移（2024年12月31日～2026年7月31日）



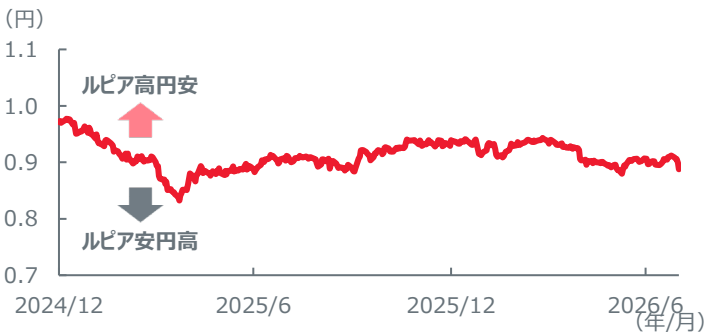
前週

2026/7/24	2026/7/31	変化幅
7.354	7.336	-0.018

年初来

2025/12/31	2026/7/31	変化幅
6.070	7.336	+1.266

[為替市場] インドネシアルピアの対円レート*の推移（2024年12月31日～2026年7月31日） *100インドネシアルピアの対円レート



前週

2026/7/24	2026/7/31	変化率
0.9119	0.8879	-2.63%

年初来

2025/12/31	2026/7/31	変化率
0.9390	0.8879	-5.44%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人資産運用業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社は関係がありません。